

滋賀県立高等専門学校の設置準備状況について

1 ソフト関係

(1) 学校運営体制構築

ア ～令和7年5月末までの状況

(ア) 校長予定者の内定

令和6年 9月 北村隆行氏(元京都大学理事・副学長)を初代校長予定者に内定・公表

令和6年 10月 同氏が県顧問等に就任、県立高専設置準備業務への従事を開始

令和7年 4月 同氏が公立大学法人滋賀県立大学理事(高専開設準備担当)に就任

(イ) 教員募集・選考

○ 開校準備教員(※)の採用

(※) 県立高専のポリシー検討、カリキュラム編成や学校運営体制づくりなど開校準備の中心となる教員

令和6年4月 開校準備教員1人(機械系)を採用

令和7年4月 開校準備教員6人(情報技術系2人、電気電子系1人、建設系1人、一般科目・学生支援2人)を採用

○ その他教員の募集・選考

令和6年12月～ 開校準備教員を除く教員(47人程度)の募集・選考を実施

(ウ) 事務局整備

令和7年4月 公立大学法人滋賀県立大学に高専開設準備局(局長以下21人+開校準備教員7人の計28人体制)を設置

イ 令和7年度今後の主な予定

○ 令和8年10月の設置認可申請に向けて、令和7年度中に必要な教員数(専門科目、一般科目合わせて計54人程度)を確保できるまで募集・選考を継続実施

○ 開校準備教員を中心に、カリキュラムを編成

○ 設置認可申請書の作成を開始

○ 学校運営に係る各種例規を整備

(2) 企業等との連携・共創

ア ～令和7年5月末までの状況

(ア) 県立高専への応援団づくり

○ 「県立高専共創フォーラム」(令和5年11月設置)への参画企業等を継続募集(R7.5.30)

区分	企業	団体	高専	行政	大学	個人	計
参画者数	235	17	2	1	4	115	374

○ 企業関係者向けイベントの実施(3回)による情報発信・機運醸成

第1回: 令和6年2月 8日(参加者数: 約250人(来場+オンライン))

第2回: 令和6年9月 11日(参加者数: 約180人(来場+オンライン))

第3回: 令和7年2月 13日(参加者数: 約200人(来場のみ))

○ メールマガジンによる情報発信(10回発行)

(イ) 連携・共創の具体的なメニューづくり

○ 参画企業へ個別訪問し、意見交換(オンラインによる場合もあり)(実施数: 89社)

○ 関心のある連携・共創メニューについて、参画企業へアンケートを実施(回答数:104 社)

項目	メニュー	No	比率	数
1. 県立高専と企業等が共に成長を目指すメニュー				
① 技術の社会実装	ア PBL教育支援（課題の提供）	[1]	32%	33
	イ PBL教育支援（メンター/マイスター派遣）	[2]	25%	26
	ウ 学生技術コンテスト主催	[3]	13%	14
	エ 企業コンテストへの学生参加	[4]	11%	11
② 共同研究	ア 委託型共同研究	[5]	12%	12
	イ 協働型共同研究	[6]	33%	34
	ウ 派遣型共同研究	[7]	11%	11
	エ 県立高専内への企業等研究室の設置	[8]	12%	12
③ 広告	ア ネーミングライツ制度	[9]	20%	21
	イ 県立高専内への企業広告	[10]	52%	54
	ウ 県立高専内イベント（県立高専祭等）への協賛	[11]	48%	50
2. 学生の成長を企業等に応援いただくメニュー				
④ 教員・講師等派遣	ア 実務家教員の派遣	[12]	13%	14
	イ 講演会講師等の派遣	[13]	39%	41
	ウ 技術職員の派遣	[14]	16%	17
	エ 外国籍従業員による実践的な英会話演習	[15]	3%	3
⑤ 企業講座等	ア 企業講座（寄附講座）等	[16]	26%	27
	イ 企業等所有設備・機器の教育利用	[17]	26%	27
	ウ 学生起業支援	[18]	6%	6
	エ 企業・業界団体等研修の活用	[19]	16%	17
⑥ 学生支援	ア 企業従業員寮の利用	[20]	4%	4
	イ 企業スポーツイベントへの参加、施設利用などスポーツ活動の支援	[21]	8%	8
⑦ インターンシップ	ア 長期インターンシップ（2か月程度）	[22]	30%	31
	イ インターンシップ（5日または10日程度）	[23]	84%	87
	ウ 1日就労体験	[24]	76%	79
	エ 海外インターンシップ	[25]	7%	7
⑧ 学位取得支援	ア（卒業後）働きながらの学位取得支援	[26]	15%	16

項目	メニュー	No	比率	数
2. 学生の成長を企業等に応援いただくメニュー				
⑨ 寄附等	ア 学生用PC購入費支援	[27]	7%	7
	イ 学生活動費支援	[28]	12%	12
	ウ 学生用作業着購入費支援	[29]	11%	11
	エ 教育研究機器等寄附	[30]	13%	13
	オ 交流用工作機械等寄附	[31]	8%	8
	カ 図書等の寄附	[32]	10%	10
	キ 教科書購入支援	[33]	4%	4
	ク 学生生活を支える用品購入支援	[34]	6%	6
	ケ 給付型企業奨学金	[35]	14%	15
	コ（卒業後）奨学金返還支援（代理返還）	[36]	13%	14
	サ 返済型企業奨学金	[37]	7%	7
3. 県立高専のリソースを企業等が活用するメニュー				
⑩ 企業への技術支援	ア 企業課題への技術相談対応/技術支援	[38]	25%	26
	イ 県立高専所有設備・機器等の企業等による利用	[39]	24%	25
	ウ 企業等交流会	[40]	59%	61
	エ 企業等従業員の資格取得支援	[41]	28%	29
	オ 企業等従業員のリハビリ、リカレント教育支援	[42]	26%	27
	カ 県立高専教育コンテンツのデジタル配信	[43]	16%	17
	キ 企業等への出前授業	[44]	22%	23
	ク 企業等による県立高専参観	[45]	43%	45
	ケ 県立高専内の知的財産活用	[46]	13%	14
⑪ リクルート	ア 県立高専内業界・企業等説明会	[47]	83%	86
	イ 企業等PRブック作成	[48]	57%	59
	ウ（卒業後）卒業生のUターン就職に関する連携	[49]	70%	73
	エ 県立高専生の就職処遇向上検討	[50]	35%	36
	オ 学生アルバイト	[51]	13%	14

イ 令和7年度今後の主な予定

- 参画企業への個別訪問・意見交換を継続実施
- 企業との連携・共創メニューの具体化を開始

(3) 広報・周知活動

ア ～令和7年5月末までの状況

- (ア) 専用ホームページ（令和6年11月開設）による情報発信
- (イ) 各種広報資料を作成、配布・発信
チラシ、PR動画、ペン立てキット、のぼり、ミニのぼり
- (ウ) 開校準備教員による小学校への出前授業を実施
令和6年9月～11月 野洲市内小学校5校にて実施



- ・対 象 小学校6年生 322人
- ・内 容 プラズマボール実演、空中衝突実験、プログラミングロボット操作

約77%の児童が「学校説明を受け、実験をして、高専に興味を持った」と回答

(I) 各種イベントにブース出展し、県立高専開校予定をPR



(オ) 主催イベントを実施

令和6年11月30日(土)～12月1日(日) 「高専フェア in イオンモール草津」
近隣国立高専4校(福井、鈴鹿、舞鶴、奈良)の協力のもと、体験型イベントを実施



参加者数：シールラリー 約250人、科学工作体験 約270人、ペン立てづくり 約170人

イ 令和7年度今後の主な予定

- (ア) 専用ホームページによる情報発信を継続実施
- (イ) 各種広報資材を継続的に作成、配布・発信
- (ウ) 開校準備教員による小学校への出前授業を継続実施
- (エ) 教育委員会等の会合での情報発信を継続実施
- (オ) 各種イベントへのブース出展、主催イベントを継続実施(以下、現時点での予定)

○ブース出展

- 令和7年 6月 「やすまる広場 2025」(野洲市立図書館)
- 令和7年 7月 「サイエンスフェスタ」(ビバシティ彦根)
- 令和7年 9月 「滋賀けんせつみらいフェスタ」(希望ヶ丘文化公園)
- 令和7年 10月 「青少年のための科学の祭典 彦根」(県立大学)
- 令和7年 11月 「青少年のための科学の祭典 大津」(滋賀大学大津キャンパス)

○主催イベント

- 令和7年 8月 「(仮称)高専フェア 2025 夏」(ビバシティ彦根)
- 令和7年 11月 「(仮称)高専フェア 2025 秋」(イオンモール草津)

(カ) 中学校への広報・周知を展開

- 中学校へのチラシ配布、およびポスター掲示
- 中学校教員、中学生およびその保護者に対する情報発信

(キ) 「教育しが」(県教育委員会発行)へ連載記事を掲載(10月、1月)

2 ハード関係

(1) 用地整備、周辺インフラ整備

ア ～令和7年5月末までの状況

～令和6年度末	開発行為許可等必要な法令上の手続を経て、造成設計
令和6年12月～令和7年3月	樹木伐採・伐根工事
令和7年2月～	盛土造成工事



【用地整備の状況（令和7年5月29日時点）】

イ 令和7年度今後の主な予定

～令和8年3月	盛土造成工事
令和7年6月～令和8年3月	雨水排水設備整備工事
令和7年9月～令和8年3月	歩道整備工事、防犯灯設置工事
令和7年度中	上下水道管（野洲市施工）、ガス管（大阪ガスネットワーク㈱施工）、電線（関西電力送配電㈱施工）の各敷設工事を順次実施

(2) 校舎等施設整備

ア ～令和7年5月末までの状況

令和6年10月～ 設計（㈱東畑建築事務所）

イ 令和7年度今後の主な予定

令和7年6月	校舎等施設概要・施設整備費（基本設計段階）を整理・公表（別添）
令和7年11月	校舎棟の設計完了
令和8年1月	校舎棟以外の設計完了
～令和8年4月	建築確認
令和8年2月～	工事発注手続（令和8年5月～ 工事）

(3) 隣接国有地整備

ア ～令和7年5月末までの状況

令和5年11月 かわまちづくり協議会（県も参画）にて検討

令和6年 8月 MIZBE ステーション（※）登録

（※）災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となる河川防災ステーションのうち、地域活性化や賑わいの創出が期待されるとして国土交通省の登録を受けたもの

イ 今後の主な予定（令和7年度以降）

令和7年度～令和9年度 国土交通省が盛土造成工事を行い、緊急復旧用資材備蓄や、車庫、管理用道路、ヘリポート等を整備

令和9年度 野洲市が水防センター、グラウンド（県立高専も使用）など上面利用施設を整備



（注）現在レイアウトを検討中であるため、今後の検討により変更の可能性がある。

【出典：野洲市提供資料を一部加筆修正】

（以上）